

学校設置者・学校・保護者等との間で確認・共有しておくことが  
望ましい主なポイント

**(基本的な考え方)**

- GIGA スクール構想で整備された1人1台端末については、教育の質の向上に効果的であり、それを積極的に活用していく観点から、児童生徒が安全・安心に端末を使用できるようにするため、「学校における ICT 環境の活用チェックリスト」(別添1)を参照しながら、学校設置者や学校現場において事前に十分な準備等を行うことが必要です。
- その際、特に児童生徒に対し、安全・安心に利用するための使用ルールなどを指導するだけでなく、保護者や地域の方々など関係者にも理解と協力を得ながら、児童生徒が安心・安全に端末を利用できる環境を整えることが重要です。
- このため、学校設置者・学校・保護者等との間で共通理解を図っておくことが望ましい主なポイントを下記の通り整理したので、保護者説明会やお便り・文書等の配布などにより、周知を徹底してください。  
(内容に応じて、児童生徒本人に対しても確認・指導してください。)
- また、保護者や児童生徒の意見・課題などを聞き取りながら対応を進めるとともに、より活用しやすくするよう見直し・工夫することが重要です。

- 1. 児童生徒が端末を安全・安心に活用するために  
気を付けること
- 2. 端末・インターネットの特性と個人情報の扱い方
- 3. 健康面への配慮
- 4. トラブルが起きた場合の連絡や問合せ方法等の情報  
共有の仕組み

## 記

### 1. 児童生徒が端末を安全・安心に活用するために気を付けること

各学校や各学校設置者において端末を扱う際に気を付けることについてどのような目的や趣旨で定めたかを説明するとともに、その目的や趣旨を各家庭においても踏まえて使用していただきたいこと。

(項目例)

- 使用時間を守る
- 端末・アカウント (ID)・パスワードを適切に取り扱うこと  
(例：第三者に端末を貸さない、第三者にアカウント (ID)・パスワードを教えない 等)
- アプリケーションの追加／削除、設定の変更は、学校設置者・学校の指示に沿って行う (特に学校備品の端末の場合)
- 端末を使うときは、落としたり、ぬらしたりしないように注意する
- 学習に関係のない目的では使わない (特に学校備品の端末の場合)
- 充電は学校や学校設置者が定めたルール以外の方法を行わない

### 2. 端末・インターネットの特性と個人情報の扱い方

自分にとって危険な行動や他人に迷惑をかける行動をしないように、端末やインターネットの特性と個人情報の扱い方を正しく理解しながら使用することが重要であること。

(留意点の例)

- 本人の許可を得ることなく写真を撮ったり、録音・録画したりしない
- 児童生徒が自分や他人の個人情報(名前、住所、電話番号、メールアドレスなど)を、誰もがアクセスできるインターネット上に不用意に書き込まない
- 他人を傷つけたり、嫌な思いをさせることを、ネット上に書き込まない
- 不適切なサイトにアクセスしない
- インターネット閲覧時に、通知の許可を求められてもむやみに許可しない
- インターネット上のファイルには危険なものもあるので、むやみにダウンロードしない

### **3. 健康面への配慮**

学校・家庭で端末を利用する際は、子供たちの健康影響に配慮することが重要であること。また、児童生徒が自らの健康について自覚を持ち、利用時間を決めて、できるだけ遠くを見て目を休めたり、目が乾かないよう意識的に時々まばたきをしたりするなど、リテラシーとして習得させることが重要であること。

(学校内・外を問わずに ICT 機器全般の利用機会が広がることを見込まれることから、家庭においても、子供と話し合い、子供が自らの問題として捉えられるよう、利用時間等を設定することなども重要)

(項目例)

- 端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を 30cm 以上離す(目と画面の距離は長ければ長い方が良い)
- 長時間にわたって継続して画面を見ないよう、30 分に 1 回は、20 秒以上、画面から目を離して、できるだけ遠くを見るなどして目を休める  
(学校や家庭において、遠くを見る際の目標物を児童生徒が考え、話し合う機会を持つなどにより、目を休めることの重要性を伝えることも考えられる)
- 端末を見続ける一度の学習活動が長くならないようにする
- 画面の反射や画面への映り込みを防止するために画面の角度や明るさを調整する
- 部屋の明るさに合わせて、端末の画面の明るさを調整する(一般には、夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ(輝度)を下げるのが推奨される)
- 就寝 1 時間前からは ICT 機器の利用を控える  
(睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され、寝つきが悪くなるため)

等

### **4. トラブルが起きた場合の連絡や問合せ方法等の情報共有の仕組み**

端末の利用に関する問合せ先や、故障・破損・紛失・盗難、ネット上のトラブル等が発生した場合の対応手順や連絡先を、家庭・保護者と学校・学校設置者の間で共有しておくことが重要であること。